

2025年10月期 第1四半期 IRミーティング資料

2025/4/2

2025年10月期 第1四半期実績

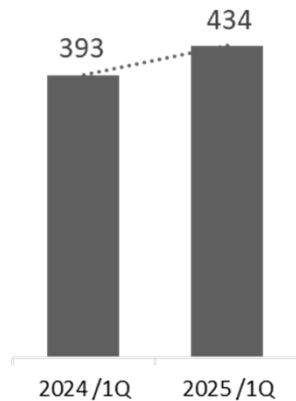
(単位：億円)

	2024 /1Q 実績	2025 /1Q 実績	前年同期比	増減率
売上高	393	434	+41	+10%
売上総利益	84	96	+12	+14%
営業利益	29	40	+11	+36%
経常利益	36	50	+15	+42%
親会社株主に帰属する四半期純利益	25	40	+15	+61%

参考：平均レート ¥/ドル=145 ¥/ドル=154

売上高

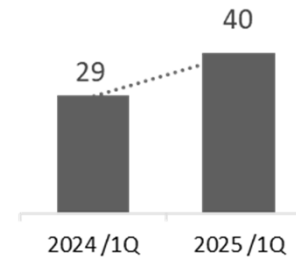
前年同期比 **+41** 億円



- (+) すべての事業セグメントで出足好調
特に、主力の農薬事業が増収を牽引
- (+) アクシープ：+14億円

営業利益

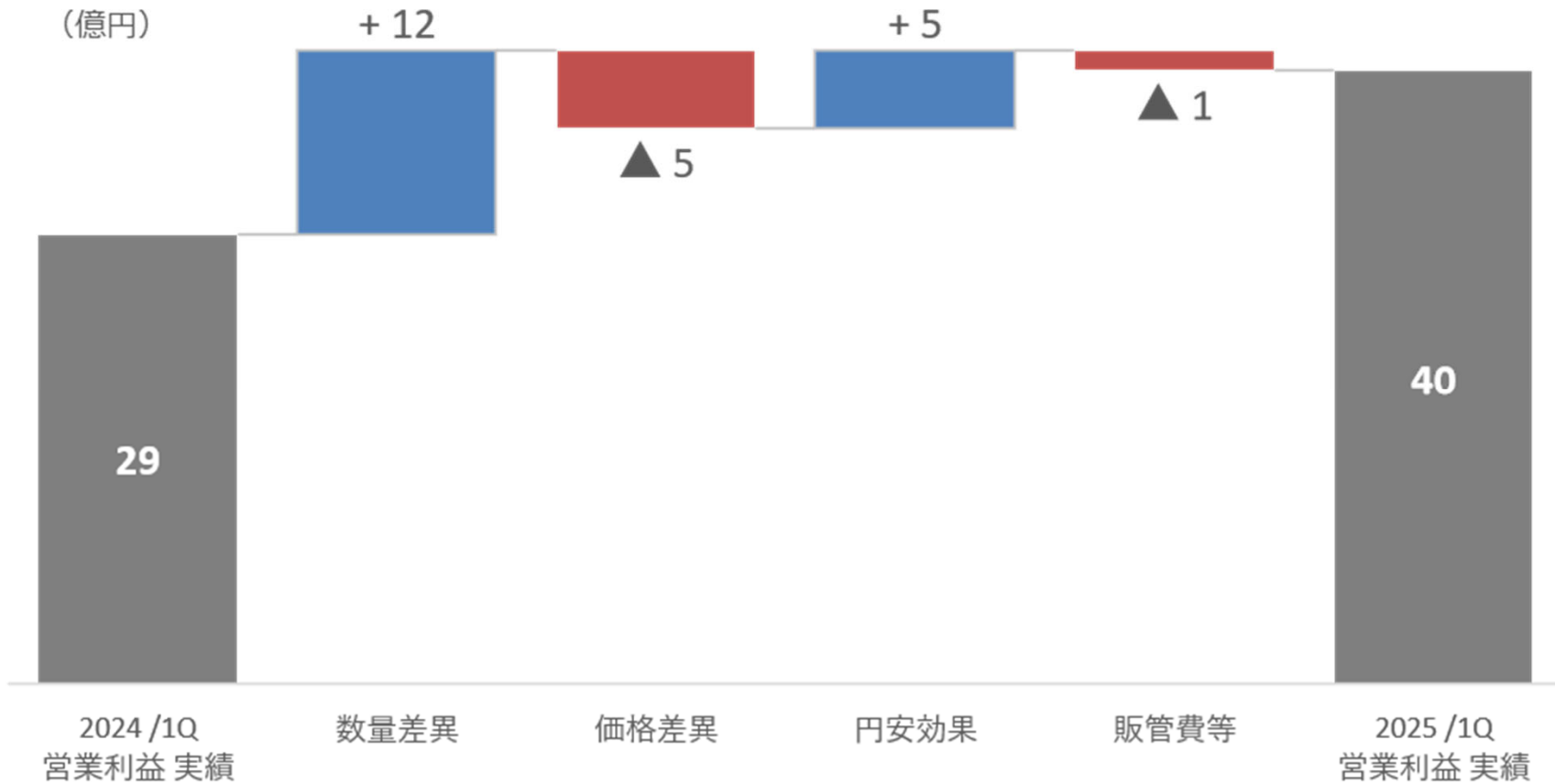
前年同期比 **+11** 億円



- (+) 農薬事業の増収
- (+) 化成品事業の増収

営業利益率： 7.5% 9.2%

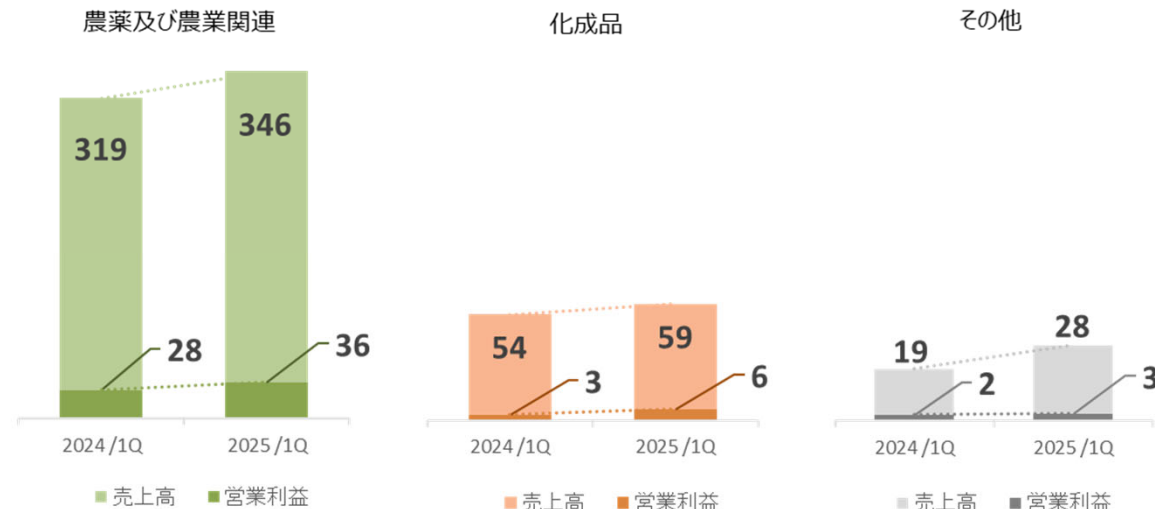
営業増益の要因



2025年10月期 第1四半期実績 (セグメント別)

(単位：億円)

	2024 /1Q 実績	2025 /1Q 実績	前年同期比	増減率
売上高	393	434	+41	+10%
農薬及び農業関連	319	346	+27	+8%
化成品	54	59	+5	+10%
その他	19	28	+9	+45%
営業利益	29	40	+11	+36%
農薬及び農業関連	28	36	+8	+28%
化成品	3	6	+3	+112%
その他	2	3	+0	+19%
(調整額)	▲4	▲4	▲1	-



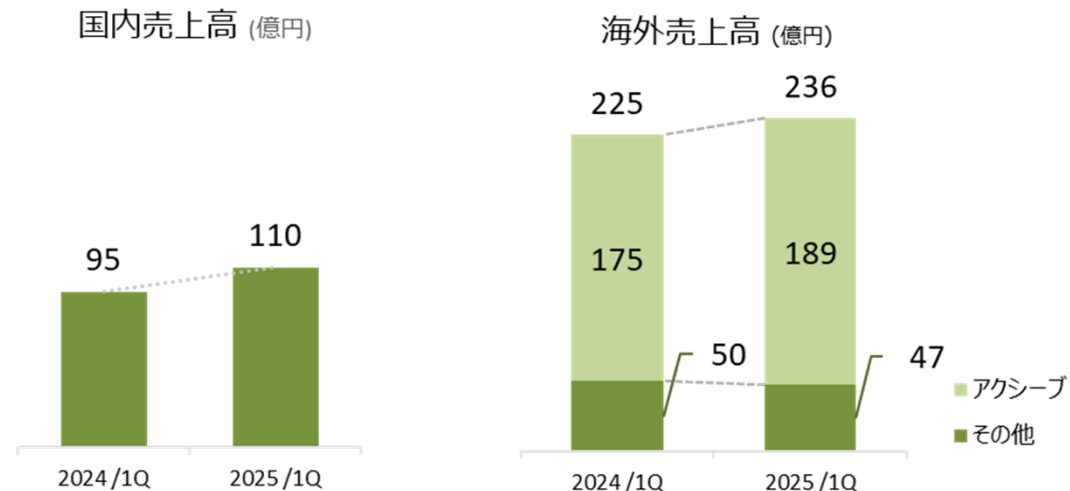
農薬及び農業関連事業

国内

- 除草剤「エフィーダ」を含む、水稲用除草剤が好調
- 殺菌剤「ディザルタ」を含む、水稲用箱処理剤も順調

海外

- 除草剤「アクシーブ」の米国およびアルゼンチン向け出荷減となるも、オーストラリア向けは特許侵害品に対する法対応が奏功し出荷増、ブラジル向けも販売促進の強化により出荷増



アクシブ概況



アメリカ

2025年度 :売上高計画 **450**億円 (前年実績 **420**億円)

当第1四半期 :売上高実績 **106**億円 (前年同期実績 **115**億円)

- 対前年同期▲9億円となるも、計画からの大きな乖離はない
- 一部前倒し出荷あり



オーストラリア

2025年度 :売上高計画 **23**億円 (前年実績 **32**億円)

当第1四半期 :売上高実績 **49**億円 (前年同期実績 **15**億円)

- 目論見どおり法対応が奏功し、年間計画を大幅に上回った

アクシーブ概況



アルゼンチン

2025年度 :売上高計画 **102億円** (前年実績 **139億円**)

当第1四半期 :売上高実績なし (前年同期実績 **22億円**)

- 出荷時期の後倒しにより販売実績なし
- ジェネリック品参入による影響については不透明感が若干増加



ブラジル

2025年度 :売上高計画 **62億円** (前年実績 **92億円**)

当第1四半期 :売上高実績 **33億円** (前年同期実績 **22億円**)

- 販促支援の強化が奏功し出荷増による増収増益

化成品事業

塩素化

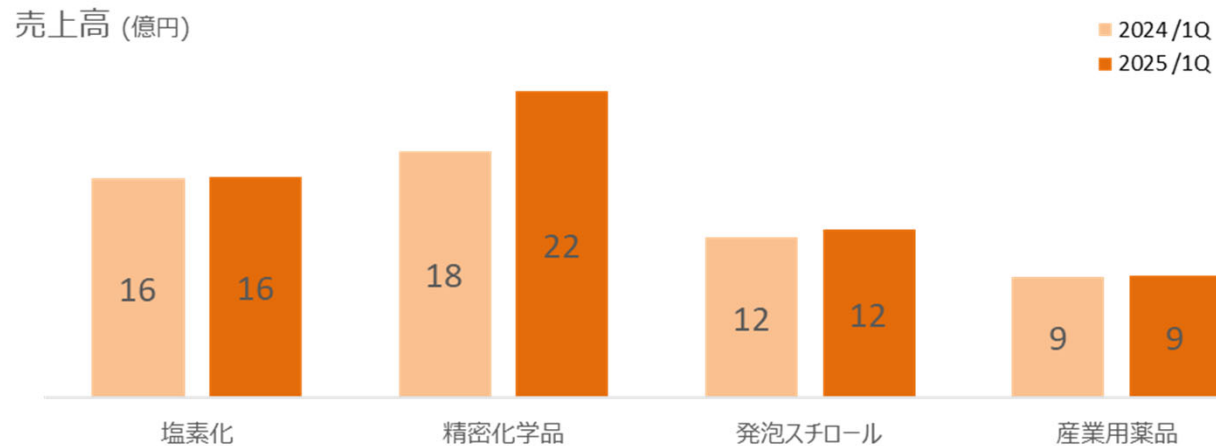
- 前年同期並みで推移

精密化学品

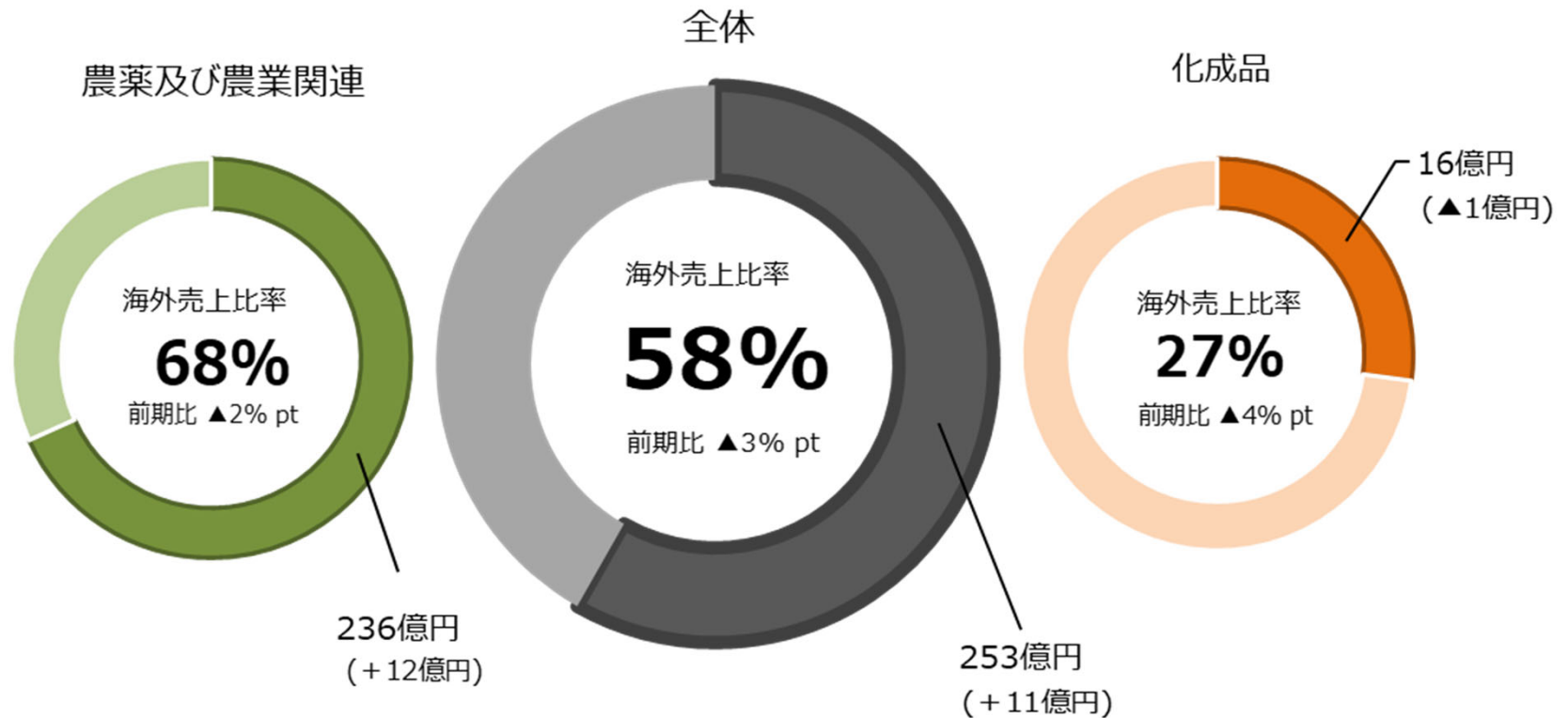
- 生成AIサーバー向け電子材料分野の需要好調によるビスマレイミド類の出荷増
- アミン類の出荷も堅調に推移

発泡スチロール・産業用薬品

- 前年同期並みで推移



2025年10月期 第1四半期実績（海外売上比率）



2025年10月期 第1四半期実績 総括

事業全体

売上高	434 億円 (前年同期比 +41億円)	・すべての事業セグメントで出足好調
営業利益	40 億円 (前年同期比 +11億円)	・円安効果による利益の押上げ
経常利益	50 億円 (前年同期比 +15億円)	

農薬及び農業関連事業

売上高	346 億円 (前年同期比 +27億円)	・除草剤「アクシーブ」の米国およびアルゼンチン向け出荷減となるも、オーストラリア向けは特許侵害品に対する法対応が奏功し出荷増、ブラジル向けも販売促進の強化により出荷増
営業利益	36 億円 (前年同期比 +8億円)	・殺菌剤「ディザルタ」、除草剤「エフィーダ」の国内販売も好調

化成品事業

売上高	59 億円 (前年同期比 +5億円)	・生成AIサーバー向け電子材料分野の需要が好調に推移し、ビスマレイミド類の出荷増
営業利益	6 億円 (前年同期比 +3億円)	・アミン類の出荷も堅調推移

その他事業

売上高	28 億円 (前年同期比 +9億円)	・建設業における新規工事受注等が増加
営業利益	3 億円 (前年同期比 +0億円)	・印刷事業、物流事業は横ばい

2025年10月期 業績予想（前期比）

（単位：億円）

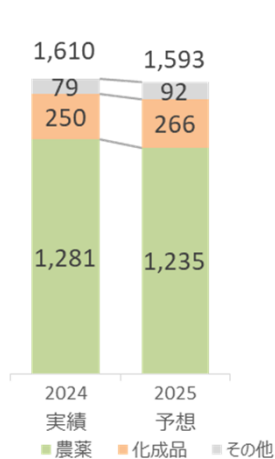
	2024 実績	2025 予想	前期比	増減率
売上高	1,610	1,593	▲17	▲1%
農薬及び農業関連	1,281	1,235	▲46	▲4%
化成品	250	266	+16	+7%
その他	79	92	+13	+16%
営業利益	114	104	▲10	▲8%
経常利益	183	145	▲38	▲21%
親会社株主に帰属する当期純利益	136	109	▲27	▲20%

参考：平均レート

¥/ドル=151

¥/ドル=150

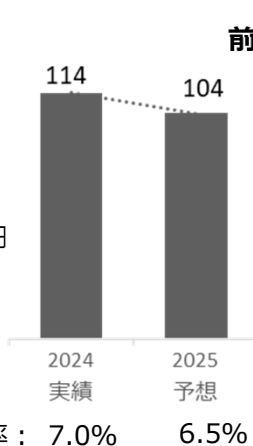
売上高



前期比 ▲17 億円

(+) 化成品の出荷増+16億円
(-) アクシーブの出荷減▲50億円

営業利益

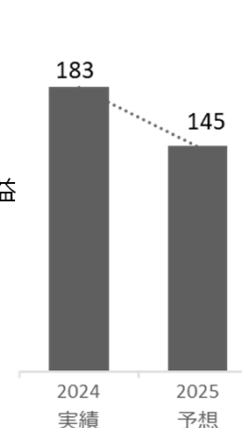


前期比 ▲10 億円

(-) 減収に伴う営業減益

営業利益率： 7.0% 6.5%

経常利益



前期比 ▲38 億円

(-) 持分法投資利益▲23億円

研究開発費・設備投資・減価償却費

研究開発費

2024年度実績 **70**億円 → 2025年度計画 **71**億円
(主な内容) 海外開発への取り組み強化、最先端技術の活用による研究推進

設備投資

2024年度実績 **99**億円 → 2025年度計画 **85**億円
(主な内容) 新プラント建設、生産設備・研究施設の更新

減価償却費

2024年度実績 **53**億円 → 2025年度計画 **52**億円

アクションの見通し - 特許侵害品対策 -

- 11件（製造国：中国 6件 / 販売国：豪州 5件）の提訴案件に対し 2件の勝訴的和解を獲得
 - 製造国と販売国の双方で法対応を並行して実施し、当社サイトでリリース
 - 特に製造国である中国と、販売国である豪州からのダウンロード件数が多い
 - 一連の対応は、違法な市場参入のけん制に有効に機能



知財：特許対応、法対応

開発：混合剤開発、他社原体特許

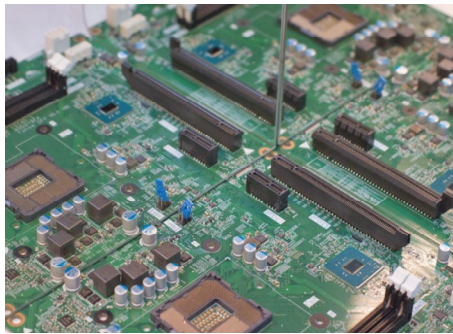
調達：調達コスト低減、安定調達

生産：品質維持、製剤安定供給、ESG

営業：価格調整、ビジネスモデル検討

化成品事業 - ビスマレイミド類 (BMI類) の特性と用途 -

① 耐熱性と電気特性に優れる → 電子部品に最適



② 耐熱性に優れる → ワニス、被覆材として使用

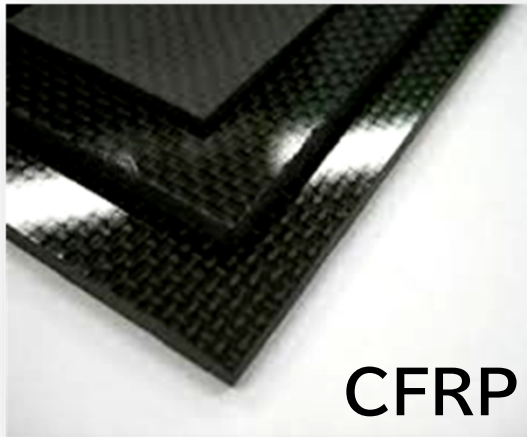
- ・ 絶縁性を活かし、
モータコイルなどに含浸被覆
→ 電車等に利用



化成品事業 - ビスマレイミド類 (BMI類) の特性と用途 -

③ 超高耐熱性の特性を活かす → 先端複合材料

- ・ BMI樹脂を含浸させた炭素繊維強化プラスチック (CFRP)を航空機に使用



④ 耐熱性と靱性(外部からの圧力に強い)を両立

→ ゴム架橋剤

- ・ タイヤ
- ・ 自動車や構築物の防振ゴム



化成品事業 - ビスマレイミド類（BMI類）の特性と用途 -

■ 豊富な製品ポートフォリオ

特に、電子部品用途のBMI類が好調

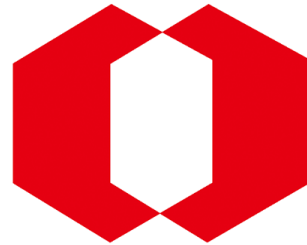
➡ 今後も半導体業界のプラス成長に伴う需要拡大を見込む

■ 耐熱性、電気特性に優れるBMI類は高機能樹脂の原料

今後も用途拡大の可能性

➡ 高耐熱性や高強度、低誘電性等、高まる要求特性に応え、新規顧客および用途の開拓を目指す

自然に学び 自然を守る



クミカ

本資料に記載されている業績予想および将来の予想などに関する記述は、資料作成時点で入手した情報に基づき、弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なる可能性があります。

万が一、この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんこと、ご承知おきください。

弊社および弊社関連会社以外に関する情報は、公知の情報に依拠しており、情報の正確性などについて保証するものではありません。

<お問い合わせ先>
クミアイ化学工業株式会社
経営管理本部 経営企画部 企画課

弊社IRサイトもご覧ください <https://ir.kumiai-chem.co.jp/>